

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017053	事務事業名	学校給食費一般事業費			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者 (課長)	武居 秀法	評価責任者 (部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市内の児童・生徒及び保護者、 給食センター職員及び学校関係者 他	事業の目的 (意図)	各学校給食センターの円滑な運営により、児童生徒に安心・安全でおいしい給食の安定供給を可能とする。 また、市と保護者との経費負担の明確化を図るとともに、負担の公平性を確保する。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●一般管理事務(学校給食センターの衛生・アレルギー対応、職員育成、労務管理等)及び各給食センター間の調整 ●学校給食費の滞納整理 ●学校給食運営審議会、給食協議会の開催 ●新給食センターの整備検討 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	学校給食費収納率(現年度)	現年度分の収入額/調定額	%	目標値	99.9	99.9	99.9
			実績値	99.5	99.8		
			達成度(%)	99.6%	99.9%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,970	5,935	6,010	6,656
うち一財		千円	4,970	5,935	6,000	6,646	6,000
(決算額)	直接事業費	千円	2,285	3,367		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,285	3,315			
	正職員人件費	千円	19,005	19,327			
	人工数	人	2.57	2.61	1.74		
	支出コスト	千円	決) 21,290	決) 22,694			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	学校給食衛生管理基準を満たした新センターを順次整備してきている。 平成26年度から給食費を統一している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 学校給食費収納率向上のため、滞納額の徴収体制を強化する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	従来の対応とともに、現年度分の給食費に未納が発生しないよう、学校と連携を取りながら、保護者への通知文書や督促状を送る。また、就学援助対象者には、校長への受領委任を推進する。	評価責任者コメント	学校給食費収納率向上のためには、現年度分の収納率100%をめざし、滞納分も放置することなく、学校長の協力を得て、事務事業の方向性に掲げる改善案を確実に実行されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、経常経費の削減を図る一方で、臨時的経費として栄養管理システム改修のための予算を計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	一般管理事務	○アレルギー事故の防止 ○感染性食中毒、異物混入事故の防止	○アレルギー面談等の実施 ○異物混入対応マニュアルの作成 ○囁託・臨時職員の任用	3,150 否	1.73	0.00	
②	給食費管理事務	現年度分の学校給食費収納率(目標値:99.9%)	督促などにより、未納額を削減(現年度収納率:99.8%)	38 否	0.15	0.00	
③	運営審議会開催事務	学校給食の運営に関する審議会の開催(目標値:年2回)	安心安全でおいしい学校給食を提供するため、運営に関する事項を審議(開催回数:年4回)	177 否	0.18	0.00	
④	給食協議会開催事務	献立内容や食材等に関する協議会の開催(目標値:各センター毎、学期に1回)	献立・食材等に関する事項を協議(開催回数:鹿野を除く6センターは学期に1回、鹿野は年1回)	1 否	0.06	0.00	
⑤	新給食センター整備検討事務	新センターの設置場所や規模について情報収集及び検討	設置場所、規模、敷地面積、整備期間、手法について方針決定	1 否	0.49	0.00	

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072023	事務事業名	単独校管理運営事業費			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者 (課長)	武居 秀法	評価責任者 (部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	小規模単独校方式により給食を実施している周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的 (意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●単独校調理施設の管理運営(大津島小・・・H28.4月から休校) ●調理・配送・洗浄 ●単独校に対する副食代の補助 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	7,981.0	736.0	1,288.0
				実績値	6,899.0	1,065.0	
				達成度(%)	86.4%	144.7%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	6,914	2,962	2,944	0	0
	(予算額) うち一財	千円	6,914	2,962	2,944	0	0
	直接事業費	千円	6,919	2,533		対28年度増減理由 対29年度増減理由	
	(決算額) うち一財	千円	6,919	2,533			
	正職員人件費	千円	740	741		平成28年度から在校生不在による自然休校。	
人工数	人	0.10	0.10	0.00			
支出コスト	千円	決) 7,659	決) 3,274				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H27.4月中からの中須小休校により親子方式を廃止し、高尾学校給食センターから須磨小・中須中に配送。H28.4月からは大津島小が休校。		課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 離島地域の小規模単独校方式の給食業務であるため、調理員1人で発注・検収・調理・洗浄・衛生管理を行っている。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性		唯一の単独校だった大津島小の休校により、事業休止の方向。	評価責任者コメント	所管課の示した方向性のとおりであるが、離島地域の学校に対する給食業務であることを考慮し、引き続き小中学校への入学・転入等の動向にも注視しながら、的確に対応すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
在校生不在による自然休校に伴い、予算計上を見送った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	単独校管理運営業務	単独校においても給食業務を確実に実施	臨時・嘱託職員を適正に配置し、学校給食業務を実施	2,533		0.10	0.00
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072030	事務事業名	学校給食管理運営事業費(栗屋)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	479,769.0	470,817.0	466,302.0
				実績値	470,442.0	467,139.0	
達成度(%)				98.1%	99.2%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	95,375	95,744	104,081	102,278	102,278
	(予算額) うち一財	千円	95,294	95,744	104,023	102,220	102,220
	直接事業費	千円	95,779	94,041		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	95,749	90,775		光熱水費の減。	
	正職員人件費	千円	7,395	7,849			
	人工数	人	1.00	1.06	1.07		
	支出コスト	千円	決) 103,174	決) 101,890			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年4月の供用開始以降、学校給食衛生管理基準に適合した施設として、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいる。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 増加傾向にあった光熱水費や修繕料は減に転じたものの、施設の不具合が随時発生している状況。自主点検・予防保全や衛生管理等を徹底し、効率的な運営に努める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校給食衛生管理基準を遵守し、効率的な運営に努めるとともに、残渣率の減少に向けた取り組みを継続する。	評価責任者コメント	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	32,797 否	0.76	0.91	
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務 等	61,244 可	0.30		
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072031	事務事業名	学校給食材料費(栗屋)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)		県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0
実績値					26.1	24.5	
達成度(%)					93.2%	81.7%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	126,684	124,530	123,258	126,243
うち一財		千円	161	158	159	159	159
(決算額)	直接事業費	千円	118,820	119,338		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,370	0		対象児童生徒の増。	対象児童生徒の増。
	正職員人件費	千円	887	889			
	人工数	人	0.12	0.12	0.16		
	支出コスト	千円	決) 119,707	決) 120,227			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	119,338		0.12	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072033	事務事業名	学校給食管理運営事業費(住吉)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	412,737.0	390,306.0
実績値					401,507.0	389,024.0	
達成度(%)					97.3%	99.7%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	78,350	79,217	83,625	82,341
うち一財		千円	78,305	79,172	83,580	82,296	82,296
(決算額)	直接事業費	千円	78,854	78,009		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	78,773	77,219		光熱水費の減。	
	正職員人件費	千円	7,395	7,849			
	人工数	人	1.00	1.06	1.05		
	支出コスト	千円	決) 86,249	決) 85,858			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年4月の供用開始以降、学校給食衛生管理基準に適合した施設として、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいる。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 光熱水費が減少したものの、修繕料が増加傾向にある。施設の自主点検・予防保全や衛生管理等を徹底し、効率的な運営に努める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校給食衛生管理基準を遵守し、効率的な運営に努めるとともに、残渣率の減少に向けた取り組みを継続する。	評価責任者コメント	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	26,529	否	0.76	0.91
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務 等	51,480	可	0.30	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072034	事務事業名	学校給食材料費(住吉)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
実績値				28.0	28.8		
達成度(%)				100.0%	96.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	110,717	104,532	104,566	103,105
うち一財		千円	161	158	159	159	159
(決算額)	直接事業費	千円	104,620	102,448		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,355	0		対象児童生徒の減。	
	正職員人件費	千円	887	889			
	人工数	人	0.12	0.12	0.15		
	支出コスト	千円	決) 105,507	決) 103,337			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	102,448		0.12	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072035	事務事業名	学校給食管理運営事業費(徳山西)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	329,883.0	321,024.0	317,406.0
				実績値	332,272.0	320,632.0	
達成度(%)				100.7%	99.9%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	42,217	48,272	46,024	46,635	46,635
	(予算額) うち一財	千円	42,127	48,182	45,934	46,545	46,545
	直接事業費	千円	42,257	55,200		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	42,165	55,150			
	正職員人件費	千円	81,345	81,159			
	人工数	人	11.00	10.96	10.84		
支出コスト	千円	決) 123,602	決) 136,359				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和54年4月の供用開始以降、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいるが、施設の老朽化が進んでいる。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 燃料費や光熱水費は減少したものの、修繕料や庁用器具費が急増している。施設の老朽化は著しいが、衛生管理を徹底しながら、設備の更新にあたっては、最小限にとどめる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	(仮称)西部地区学校給食センターの供用開始までは、現施設の維持管理と効率的な運営に努める。	評価責任者コメント	老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。衛生管理の向上に資する経費(修繕料、庁用器具費)を計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	37,605		0.80	0.80
				否			
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・直営 ○アレルギー食関係事務 等	17,595		10.16	18.94
				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072038	事務事業名	学校給食材料費(徳山西)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
実績値				31.4	30.7		
達成度(%)				112.1%	102.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	86,922	84,620	83,614	83,033
うち一財		千円	161	158	159	159	159
(決算額)	直接事業費	千円	91,835	88,784		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,675	4,808			
	正職員人件費	千円	887	889			
	人工数	人	0.12	0.12	0.15		
	支出コスト	千円	決) 92,722	決) 89,673			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	<ul style="list-style-type: none"> ○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用 	88,784		0.12	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072039	事務事業名	学校給食管理運営事業費(高尾)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	311,049.0	297,072.0	281,340.0
				実績値	304,712.0	289,183.0	
達成度(%)				98.0%	97.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	71,163	75,000	74,604	74,059	74,059
	(予算額) うち一財	千円	71,107	74,944	74,548	74,003	74,003
	直接事業費	千円	71,358	72,624		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	71,299	71,092			
	正職員人件費	千円	7,395	7,405			
	人工数	人	1.00	1.00	1.05		
	支出コスト	千円	決) 78,753	決) 80,029			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年4月の供用開始以降、学校給食衛生管理基準に適合した施設として、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいる。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 光熱水費が減少したものの、修繕料が増加傾向にある。施設の自主点検・予防保全や衛生管理等を徹底し、効率的な運営に努める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校給食衛生管理基準を遵守し、効率的な運営に努めるとともに、残渣率の減少に向けた取り組みを継続する。	評価責任者コメント	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の営繕 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	24,511 否	0.70	0.91	
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務 等	48,113 可	0.30		
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072040	事務事業名	学校給食材料費(高尾)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
実績値				29.3	28.5		
達成度(%)				104.6%	95.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	80,024	76,601	72,618	70,628
うち一財		千円	161	158	159	159	159
(決算額)	直接事業費	千円	76,162	72,424		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		対象児童生徒の減。	
	正職員人件費	千円	887	889			
	人工数	人	0.12	0.12	0.15		
	支出コスト	千円	決) 77,049	決) 73,313			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	72,424		0.12	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072044	事務事業名	学校給食管理運営事業費(新南陽)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	467,637.0	490,995.0
実績値					508,431.0	483,981.0	
達成度(%)					108.7%	98.6%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	81,802	78,787	91,336	83,211
うち一財		千円	81,699	78,684	90,128	83,110	83,110
(決算額)	直接事業費	千円	86,224	94,458		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	86,130	94,354			
	正職員人件費	千円	7,395	7,109		光熱水費、修繕料、庁用器具費の減。	
	人工数	人	1.00	0.96	0.96		
	支出コスト	千円	決) 93,619	決) 101,567			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和55年4月の供用開始以降、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいるが、施設の老朽化が進んでいる。		課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 燃料費や光熱水費は減少したものの、修繕料や庁用器具費が急増している。施設の老朽化は著しいが、衛生管理を徹底しながら、設備の更新にあたっては、最小限にとどめる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	(仮称)西部地区学校給食センターの供用開始までは、現施設の維持管理と効率的な運営に努める。		評価責任者コメント	老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	41,085	否	0.70	0.81
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務 等	53,373	可	0.26	2.01
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072047	事務事業名	学校給食材料費(新南陽)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
			実績値	24.7	25.9		
			達成度(%)	88.2%	86.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	135,408	129,838	126,710	125,207
うち一財		千円	282	278	278	277	277
(決算額)	直接事業費	千円	141,355	134,149		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,832	7,174		対象児童生徒の減。	
	正職員人件費	千円	887	889			
	人工数	人	0.12	0.12	0.16		
	支出コスト	千円	決) 142,242	決) 135,038			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施の中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	134,149		0.12	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072051	事務事業名	学校給食管理運営事業費(熊毛)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数		食数	目標値	263,485.0	248,493.0
実績値					259,957.0	245,338.0	
達成度(%)					98.7%	98.7%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	74,799	71,323	70,178	80,235
うち一財		千円	74,749	71,258	70,113	74,970	70,113
(決算額)	直接事業費	千円	67,371	67,562		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	67,191	66,865		水道接続工事による増。	水道接続工事終了による減。
	正職員人件費	千円	7,395	6,146			
	人工数	人	1.00	0.83	0.82		
	支出コスト	千円	決) 74,766	決) 73,708			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年4月の供用開始以降、学校給食衛生管理基準に適合した施設として、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいる。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 修繕料が減少したものの、光熱水費が増加傾向にある。施設の自主点検・予防保全や衛生管理等を徹底し、効率的な運営に努める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校給食衛生管理基準を遵守し、効率的な運営に努めるとともに、残渣率の減少に向けた取り組みを継続する。	評価責任者コメント	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、経常経費の削減を図る一方で、水道接続工事のための予算を計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	24,511	否	0.60	0.91
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務 等	48,113	可	0.23	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072053	事務事業名	学校給食材料費(熊本)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
			実績値	27.6	28.5		
			達成度(%)	98.6%	95.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	69,577	65,515	64,204	62,070	62,070
(予算額) うち一財	千円	161	158	159	159	159	
直接事業費	千円	66,822	63,090		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	0	0		対象児童生徒の減。		
正職員人件費	千円	813	815				
人工数	人	0.11	0.11	0.14			
支出コスト	千円	決) 67,635	決) 63,905				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	63,090		0.11	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072056	事務事業名	学校給食管理運営事業費(鹿野)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センターの管理運営 ●施設の維持管理 ●調理・配送・洗浄 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間提供食数	年間提供食数	年間提供食数	食数	目標値	42,513.0	38,498.0
実績値					41,444.0	37,886.0	
達成度(%)					97.5%	98.4%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	10,643	10,342	10,105	9,997
うち一財		千円	10,628	10,327	10,090	9,982	10,030
(決算額)	直接事業費	千円	12,025	9,449		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	11,950	9,440			学校給食センター屋根外改修工事による増。
	正職員人件費	千円	17,009	17,106			
	人工数	人	2.30	2.31	2.39		
	支出コスト	千円	決) 29,034	決) 26,555			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和63年2月の供用開始以降、創意工夫を加えながら、豊かで魅力ある学校給食の実現をめざして事業に取り組んでいる。食育推進事業も継続中。平成22年度の施設改修工事により、ドライ方式を運用している。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 燃料費や光熱水費は減少したものの、修繕料が増加傾向にある。施設の自主点検・予防保全や衛生管理等を徹底し、効率的な運営に努める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校給食衛生管理基準を遵守し、効率的な運営に努めるとともに、鹿野地域の特性を生かした取り組みを継続する。	評価責任者コメント	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。小規模施設として、学校行事も配慮した給食提供に努められたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要経費の精査を行い、光熱水費の見直し等によって経常経費の削減を図った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食管理業務	○センター施設の機能維持 ○安心・安全な給食の安定供給	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理 等	4,734		0.28	0.71
				否			
②	学校給食運営業務	○センターの円滑な運営 ○衛生管理の徹底	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・直営 ○アレルギー食関係事務 等	4,715		2.03	3.64
				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072059	事務事業名	学校給食材料費(鹿野)			
担当部・課名	教育部 学校給食課	評価者(課長)	武居 秀法	評価責任者(部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100101	分野	1教育・子育て	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1教育の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)学校教育の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市内の小中学校の児童・生徒・教職員	事業の目的(意図)	安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消や食育の推進に努める。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全で良質な食材を適正価格で購入 ●地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育に繋げていく。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地産地消実施率(重量ベース)	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	%	目標値	28.0	30.0	30.0
実績値				30.1	37.8		
達成度(%)				107.5%	126.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,163	10,148	10,537	9,793
うち一財		千円	161	158	159	159	159
(決算額)	直接事業費	千円	10,850	10,021		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	152	225			
	正職員人件費	千円	296	296			
	人工数	人	0.04	0.04	0.12		
	支出コスト	千円	決) 11,146	決) 10,317			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度の給食費改定を受け、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上が求められている。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 地元産の青果の価格が高くなる傾向がある。引き続き、青果価格協議を定期的実施する中で、市場の動向を踏まえた食材調達、地産地消の推進を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、野菜類については、少し形が悪いものや小ぶりなものでもできるだけ使用し、地産地消・食育の推進を図る。	評価責任者コメント	給食を通して児童生徒が健康で豊かな学校生活を送ることができるよう、バランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、産地の現地調査や給食用としての計画的生産を関係団体に要請するなど、積極的に地産地消を推進されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
対象児童生徒数の変動に合わせて予算計上した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	学校給食材料調達	○良質な食材の大量かつ安定的な調達 ○地産地消の推進	○良質な食材を適正価格で購入 ○学校給食を生きた教材として活用	10,021		0.04	
②				否			
③							
④							
⑤							